

京都市旅館稼働実態調査（2019年）に基づく京都市内の旅館の現状

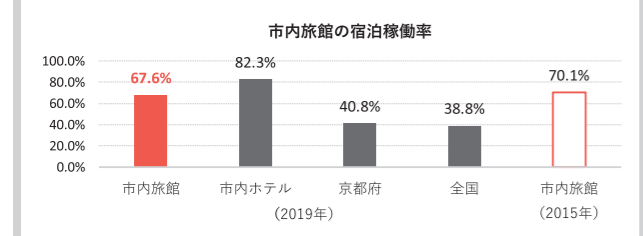
この度、京都市観光協会では、京都市内の「旅館」における外国人比率や宿泊稼働率等の推移を把握することを目的とした、京都市内の旅館を対象にアンケート調査を2015年以来4年ぶりに実施しました。108軒（回答率65.1%）から回答をいただき、集計・分析を行いました。新型コロナウイルス感染症が顕在化する前の期間を対象とした調査であり、その影響は反映されていないものの、外国人観光客や宿泊施設の増加を背景として、市内旅館の状況がどのように推移しているのかを把握しました。

* 詳細な調査結果はこちらからご覧いただけます：<https://www.kyokanko.or.jp/report/ryokan2019/>



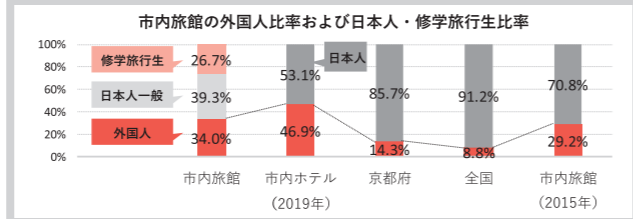
●年間稼働率は全国や京都の水準を大きく上回る

京都市内108旅館における2019年の客室稼働率は67.6%と、全国平均（38.8%）や京都府平均（40.8%）を大きく上回った。



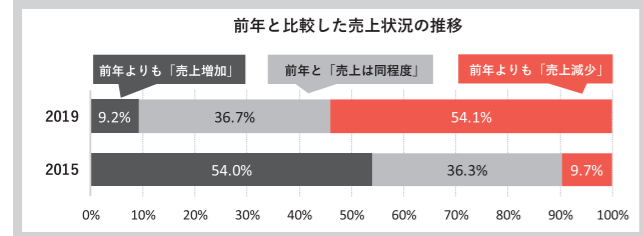
●宿泊者に占める外国人と修学旅行生の比率は共に約3割

市内旅館の外国人比率は34.0%となり、京都府（14.3%）や全国（8.8%）の外国人比率を大きく上回った。また、宿泊者に占める修学旅行客の比率は26.7%となった。



●過半数の施設では売上が前年よりも減少する傾向

全体の54.1%の施設が「前年よりも売上が減少している」と回答する結果となり、同様に回答した施設の割合が9.1%に留まっていた2015年の調査とは大きく異なる傾向が見られた。



●インバウンド受入環境は改善を続けている

2015年に実施した調査と比較すると、インバウンド受入環境の整備を行っている施設の割合は大きく増加。これに伴い、インバウンドの受入に伴うトラブル数は大幅に減少している。

外国人受入に伴うトラブルや問題点の発生率	2019年	2015年
予約を受けながら来訪がない「No Show」が発生した	40.7%	78.4%
お客様からキャンセル料の徴収が出来なかった	23.5%	70.1%
エージェントとの連絡がうまく取れなかった	12.3%	15.5%
事前情報とのギャップでクレームが出た	12.3%	32.0%
食事・料理の内容や対応でのトラブルがあった	11.1%	11.3%
浴場の利用方法でトラブルがあった	8.6%	22.7%
支払についてのトラブル（カード利用など）があった	6.2%	22.7%

京都市観光協会 データ月報 6月・7月・8月

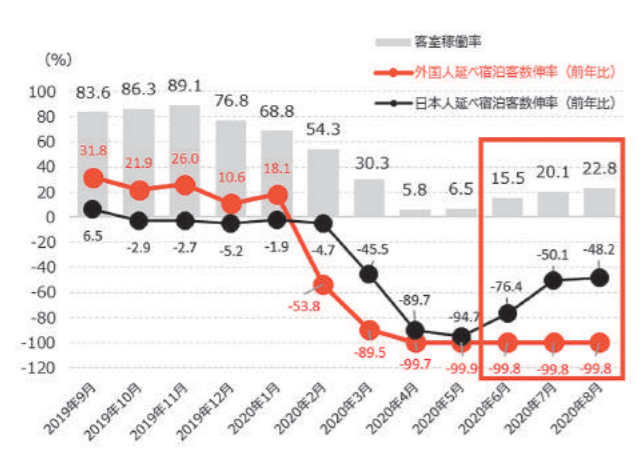
～消費喚起キャンペーンの影響を踏まえた京都観光の動向市内～

5月に緊急事態宣言が解除された後、6月には市民向けの「京都で食べよう、泊まろうキャンペーン」が、7月からは「GoToトラベルキャンペーン」が相次いで始まり、臨時休業していた宿泊施設のほとんどが営業を再開していますが、市内主要63ホテルにおける客室稼働率は22%、日本人の延べ宿泊客は前年の半分程度に留まっています。着実に回復しているものの、依然として厳しい状況が続いていることに変わりありません。スマートフォンの位置情報をもとにしたデータによると9月の連休は、主要な観光地で前年を上回る人出が観測されており各種キャンペーンの効果が現れ始めていると考えられるため9月以降の指標は改善することが期待されます。今後も、日本人客を中心に需要の回復が期待されるものの先行きが不透明なことで、直前まで予約が行われにくくなっており見通しを立てることは難しくなっていますが、引き続き今後の動向を注視していきます。



堀江 卓矢
マーケティング専門官

1. 客室稼働率および延べ宿泊客数伸率（前年比）の推移



2. 期間中の延べ宿泊者数伸率（前年同期比）

	2020年 6月～8月	2019年 6月～8月	伸率
日本人宿泊客数	320,164人	756,986人	▲57.7%
外国人宿泊客数	1,699人	907,725人	▲99.8%
総宿泊客数	321,863人	1,664,711人	▲80.7%
販売可能客室数	1,017,427室	1,129,539室	▲9.9%
訪日外客数*	198,300人	8,459,912人	▲97.7%

* 出典：日本政府観光局（JNTO）推計値

各月の詳細のレポートはこちらから



最新情報は
こちらから

公益社団法人 京都市観光協会 (DMO KYOTO) 会報第164号

京観協だより

2020 Autumn

京都市観光協会は、DMO法人として世界の観光をリードするエキスパート集団を目指します

「事前予約で楽しむ京都旅」をご提案

観光客や観光事業者など観光に携わるすべての人が、ともに感染拡大の防止に気を付けるウィズコロナの時代。京都市観光協会では、3密を避けた京都での過ごし方のヒントとして、公式サイト「京都観光Navi」の中に設けた「Withコロナ時代の京都観光ガイド」で「事前予約で楽しむ京都旅」をご提案しています。お寺や神社の特別公開や、観光関連施設のイベント等を事前予約制で実施することにより、来訪されるお客様の数を限定し密を避けることができる、新たな観光のカタチです。お寺や神社の方々にご案内いただく少人数制での特別拝観など、既に多くの皆さまにご参加いただいております。その他にも伝統産業やスカイバス、謎解きなど、事前予約（購入）で楽しめるコンテンツを多数ご紹介しておりますので、是非ホームページをご確認ください。

また当ページは京都市観光協会会員の皆さまにもご利用いただけます。事業実施日や、時間帯ごとに受け入れ



仁和寺



随心院

人数を設定できますので、活用をご検討下さい。（掲載は有料です）



事前予約で楽しむ京都旅

秋の特別公開を開催 事前予約やマイくつ袋で安心の特別公開！

京都市及び京都市観光協会では、ウィズコロナ社会の新しい観光様式を見据え、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、Webによる事前予約を活用した秋の特別公開を金戒光明寺（11月13日～12月6日）、浄住寺（11月21日～12月6日）で実施します。

公開箇所では「京都観光版ガイドライン」を順守するとともに、従来、靴を脱ぐ施設ではビニール袋の無償配布や再利用が一般的でしたが、環境負荷軽減と新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から「マイくつ袋」の持参を呼びかけ、合せて複数回の利用が可能な紙袋の販売を有償で行います。

事前予約の活用等により市民生活と観光との調和を実現し、観光客にとってもより質の高い京都観光を目指してまいります。



金戒光明寺



浄住寺

JTと連携してウィズコロナ時代の京都のまちのたしなみを「京都まちけつ」として発信！



京都市観光協会では、マナー啓発や市民参加型の清掃活動などの取り組みを推進するJTと連携し、ウィズコロナ時代の観光様式に対応した、新しい京都のまちのマナーやエチケットを共同で探求するプロジェクトを開始しました。

本プロジェクトでは、観光客や市民の皆さまが、京都のまちで安心・安全に、快適に過ごすために、一人ひとりに大切にいただきたい「たしなみ」をJTと共に考案し、「京都まちけつ（「京都の“まち”と「エチケット」を組み合わせた造語）」として発信します。

秋の紅葉シーズンに備え、京都に来る前の事前準備の際、あるいは、京都で過ごす際に心がけて頂きたい「京都まちけつ」を、京都観光Navi内の専用ページや市内の公共交通などを通じて、広く発信していきます。

京都市観光協会公式ホームページ内には、「京都まちけつ」の全イラストや文言をダウンロードできるウェブページを設置しておりますので、観光客へのご案内などに、是非ご活用ください。

(<https://www.kyokanko.or.jp/withcorona/newmanner/>)



**一に検温、
二に相談**

旅行中も毎朝検温し、体調に違和感を感じたら専用の相談窓口へ連絡する。

075-222-3421 (24時間)
新型コロナウイルス感染症
専用相談窓口

**注目は行列よりも
ステッカー**

お店を選ぶ際は、まず新型コロナウイルス対策の宣言ステッカーを確認する。

**ミツにならない
コツを掴む**

京都観光Naviを活用して、3密を避けながら楽しむ計画を立てる。

ステッカー配布×きょうの安心・明日の笑顔

京都市観光協会では、京都府市下23の観光関連団体と共に作成した「より一層『安心・安全』な京都観光を実現するための新型コロナウイルス感染症対策宣言（ガイドライン）」に基づく感染予防対策を推進する観光事業者の皆さまに、「宣言事業所ステッカー」を交付する取組を進めています。市民にとっても観光客にとっても、安心して快適な京都観光の実現を目指しています。

*ステッカーは、専用サイトより申請いただけます。(<https://www.kyoto-form.jp>)



また、当協会からステッカーを交付した飲食業や宿泊業の店舗・施設を対象に、お客様から、感染症対策やサービスに対する満足度についての声を集めることが出来るアンケートツールを無償で提供しています。市民や観光客が安心・安全な京都を守る応援団となり、店舗、施設における感染症対策について、簡単に評価・応援を行うことが可能となる、国内で初めての取組となります。集まったお客様からのご意見や応援の声は、さらなる感染症対策やサービスの向上にも役立てて頂けますので、ぜひご活用ください。

*観光協会からステッカーを交付させていただいた市内の飲食業、宿泊業の店舗・施設を対象に、個別にツールやマニュアルを送付いたします。



「京都観光オンラインアカデミー」を開設

京都市観光協会では、観光産業の人材育成を目的として、オンライン教育プログラム「京都観光オンラインアカデミー」を開設しました。当協会にて制作したウェビナー動画等を専用のウェブページにて取りまとめ、観光産業従事者を対象に広く配信いたします。ウィズコロナ時代において重要となるデジタルツールの活用や衛生対策、従業員のスキルアップにご活用頂ける京都観光の基礎知識や外国語対応等、様々なテーマの動画プログラム約30種を無料で配信しておりますので、是非ご活用ください。
*今後も新たなラインナップを適宜追加していく予定です



(<https://www.kyokanko.or.jp/academy/>)



びわ湖疏水船秋シーズン運航

「びわ湖疏水船」の秋シーズンがスタートしました。今年6月に日本遺産に認定された「琵琶湖疏水」を、清々しい秋の空気を感じながら、船上からの景観と共に楽しむことができます。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を徹底し、皆さまのお越しをお待ちしています。ご予約はびわ湖疏水船公式サイトをご覧ください。
(<https://biwakososui.kyoto.travel/>)



京都・嵐山花灯路-2020

京都の初冬を告げる風物詩「京都・嵐山花灯路-2020」。本年度は、新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで、12月11日(金)から20日(日)まで開催する予定です。渡月橋のライトアップ、露地行灯のやわらかな灯りと華やかないけばな作品が、冬の嵯峨・嵐山を幻想的に彩ります。
*新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況等により、中止または内容を変更のうえ、実施する場合があります。



重要文化財 旧三井家下鴨別邸 秋の主屋二階・三階望楼特別公開

明治から大正期にかけて整備された近代和風邸宅として名高い旧三井家下鴨別邸では、今秋も通常非公開の主屋二階・三階望楼を特別公開いたします。

主屋二階からは、巨石や燈籠が配され、札の森から流れる泉川から水を引いている瓢箪型の池がある庭園を見下ろせます。また、当時の富裕層のステータスだったといわれる四方ガラス窓の3階望楼からは、比叡山や大文字山などの彩り豊かな東山の峰々を見渡せます。

当施設では、喫茶も大人気であり、建物内だけでなく、庭園でもお楽しみいただけます。

詳細は旧三井家下鴨別邸公式サイトをご覧ください。

(<https://jakyoto.travel/tourism/article/mitsuike/>)



新入会員の紹介

(入会日順)

ご入会ありがとうございました。
これからよろしくお願いたします。

会員名	代表者	事業内容
MUNI KYOTO	総支配人 石川 眞大	ホテル
東山 四季花木	支配人 井原 穂高	ホテル
アマン京都	総支配人 塩田 明	ホテル
三井ガーデンホテル 京都河原町浄教寺	総支配人 下村 美樹	ホテル
Kyotopi株式会社	代表取締役 林 健吾	京都グルメ・観光情報サイト「kyotopi」の運営等
株式会社 阪急交通社	代表取締役 取締役社長 酒井 淳	旅行商品企画販売
倭乃里京都ミュージエ	木本 真波	ホテル
エムケイ観光バス株式会社	代表取締役社長 金本 達也	旅客自動車運送事業 (バス事業)
末廣屋	女将 司 太夫	置屋・お座敷プロデュース等
株式会社 ジェイアール東日本企画	執行役員 関西支社長 稲葉 耕一	広告業
コロンビアホテル&リゾート株式会社 BnA Alter Museum	代表取締役 中内 準	ホテル